

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課： _____
担当課長名： _____

事業名 一般国道288号 船引バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 福島県
起終点 自：福島県田村市船引町大字春山 至：福島県田村市船引町大字船引		延長 4.1 km

事業概要
一般国道288号は、福島県郡山市を起点とし、同県双葉郡双葉町に至る延長約7.5 kmの幹線道路である。船引バイパスは、船引町中心市街地の交通混雑の緩和を目的とした延長4.1 kmのバイパス整備事業である。

H8年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H10年度用地着手	H12年度工事着手
---------	------------------------	-----------	-----------

全体事業費	約8.1億円	事業進捗率	1.4%	供用済延長	0 km
-------	--------	-------	------	-------	------

計画交通量	8,470台/日				
-------	----------	--	--	--	--

費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	1.3	総費用 (残事業)/(事業全体)	/ 7.2億円	総便益 (残事業)/(事業全体)	/ 9.3億円	基準年 平成17年
	(残事業)		事業費	/ 6.8億円	走行時間短縮便益	/ 8.1億円	
			維持管理費	/ 4億円	走行費用減少便益	/ 1.0億円	
					交通事故減少便益	/ 2億円	

事業の効果等
 ・国土・地域ネットワークの構築（日常活動圏の中心都市へのアクセス向上）
 ・災害への備え（緊急輸送道路第二次確保路線の確保）

関係する地方公共団体等の意見
 ・郡山地方広域市町村圏組合等より早期整備を要望されている。

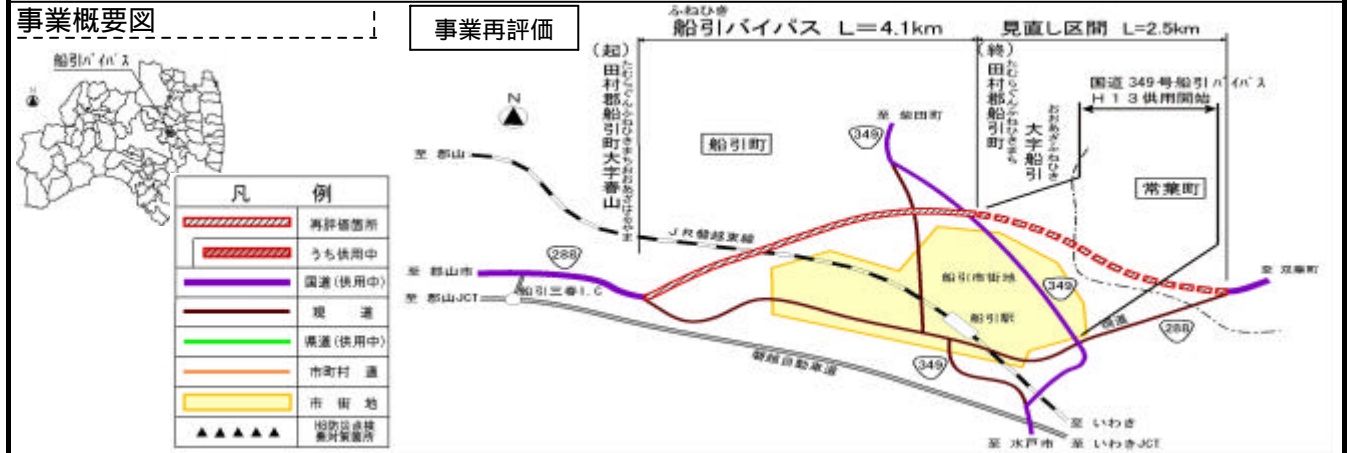
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等
 ・H13に国道349号船引バイパスが供用された。

事業の進捗状況、残事業の内容等
 ・起点側L=2.0 kmについて用地買収を進めており、用地進捗率は、約20%である。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等
 ・今後は、起点側L=2.0 km区間の用地買収を完了させ、その後、工事に着手し、計画的な投資により整備を図る。

施設の構造や工法の変更等
 ・再生路盤財投の利用を積極的に進め、コスト縮減を図っている。

対応方針
対応方針決定の理由
 ・財政状況が厳しくなる中、計画バイパスの一部東側区間の機能を他路線（国道349号船引バイパス）によって当面確保できることから、一部計画L=2.5 kmを中止して、残る区間の整備を進める。



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものだ。